

特殊詐欺未然防止で感謝状 大手町支店



大手町支店は、特殊詐欺事件の被害を未然に防いだとして、12月2日に広島中央警察署から感謝状を受け取りました。11月中旬に高齢の女性組合員から慌てた様子で「息子の事業で急にお金が必要になったので300万円要る。用意しておいてほしい」と大手町支店に電話があり、その後来店された組合員から宮原仁志支店長と久保和啓副支店長が状況を聞いたところ、詐欺の可能性が高いと思われたため警察に通報。その後、連絡が取れた息子さんから金銭を依頼していないことが判明し、詐欺だとわかりました。宮原支店長は「詐欺を未然に防止できてよかった。今後も組合員の大切な財産を守りたい」と話しました。JA広島市では、来店客への積極的な声かけや、不審な振込み、払出しへの注意喚起などを行っています。

年末の感謝祭を開催 農彩館 五日市ファーマーズマーケット

農彩館 五日市ファーマーズマーケットは、1年間のご愛顧に感謝の気持ちを込めて、12月28～30日の3日間、年末



の感謝祭を行いました。先着でお花や小河原たまごをプレゼントした他、年末年始用の食材や正月飾りなどを買い求める来店者でにぎわいました。

予告 伴支店の取り組みが『家の光』で紹介されます

伴支店と地域の農家組合員、小学校が連携して行っている食農教育の取り組みが『家の光』2月号西日本版で紹介されます。安佐南区の伴小学校と伴東小学校が行う米づくり体験に、それぞれ地元農家の原田信昭さん、沖正孝さんが協力し、伴支店がその支援を行っています。伴小学校では、米づくりの締めくくりとして、11月末に学習発表を行い、保護者や原田さんらとともにおにぎりづくり。これらの様子が紹介されていますので、ぜひご覧ください。



育てた米でもちつき 三田小学校

12月4日、安佐北区の三田小学校の5年生17名が、総合的な学習の時間で、もちつき体験を行いました。児童らは交代で息を合わせて重そうに杵でついた後、みんなで丸もちを作り、LC三田支部のメンバーが用意したおしるこに入れて食べました。この取り組みは、同校の運動場隣にある己斐潔さんの圃場で、児童らが田植えから稲刈り、ハゼ掛けを行い、収穫したモチ米をもちにして食べようというもので、LC三田支部や地元農家も地域の子もたちに食文化を伝える手助けになればと今回初めて加わり、三田支店とともに子どもたちの食農体験を応援しました。



地域の特産品「広島菜」を学ぶ 梅林小学校



安佐南区の梅林小学校は、佐東地区の特産品である「広島菜」について学ぼうと、毎年広島菜の栽培や学習に取り組んでいます。今年も

3年生140名が10月初旬に種まき、同月末に定植をしました。12月10日には、JA広島市の上田忠昭営農指導員がゲストティーチャーとして出向き、農家の育てた広島菜の株を見せながら、広島菜の歴史や種類、育てるうえで気を付けることなどを講義。授業をきっかけに栽培中の広島菜により強く興味を持ってもらいたいと「今みんなが育てている広島菜をよく観察してほしい」と呼びかけました。

LC戸河内支部とカレーづくり 上殿小学校

安芸太田町の上殿小学校の3～6年生19名は12月23日、LC戸河内支部の会員らとともにカレーづくりを行いました。毎月行っている『ちやぐりん』の寄贈をきっかけに昨年度から始まったカレーづくりを今年も引き続き開催。LC会員が生産したタマネギやジャガイモなど地元の野菜がたっぷり入ったカレーを、低学年も加えた全校児童25名で味わい、おかわり希望者続出でした。

